

SMAIL/ Gmail SMTP OAuth2 認証の利用・設定

2020/11/01 初版

－ 目次 －

1. 概要	
1) 準備	3
2) 設定	3
3) 動作確認	3
2. 詳細	
①Google API Console で OAuth 2.0 クライアント用の[クライアント ID]および [クライアントシークレット]の取得	4
1) 新しいプロジェクトの作成	4
2) OAuth 同意画面を[作成]	4
3) OAuth クライアント ID を作成	6
4) デスクトップ のクライアント ID の JSON ファイルのダウンロード	7
②Google OAuth API で[リフレッシュトークン]を取得	8
1) SmailGmailRefreshToken.exe を起動させます	8
2) ブラウザーでログイン許可設定をします	9
③MailGmailRefreshToken.exe で正しくリフレッシュトークンが取得できれば、 実行フォルダーに、smail_refresh token.ini が生成されます	10
④Smail_refresh token.ini を smail.exe と同じフォルダーにコピーし、smail.exe を起動して、 smtp 認証に OAUTH-XOAUTH2 を選択すれば利用できます	10
3. 動作確認	12

1. 概要

1) 準備

Google アカウントが必要です。(本参考例は Gmail 無料アカウントです。G Suite アカウントもほぼ同じです)

- ① Google API Console で OAuth 2.0 クライアント用の[クライアント ID]と[クライアントシークレット]の取得
ブラウザアクセスで行います。
- ② Google OAuth API で[リフレッシュトークン]を取得
付属の SmailGmailRefreshToken.exe で行います。認証はデフォルトのブラウザが起動します。
ここまでで、SMAIL で OAuth2 認証を利用するための各種情報が取得できます。
この操作は一度のみです。ただし、Google アカウントのパスワード変更等を行った場合は
リフレッシュトークンの再取得(SmailGmailRefreshToken.exe)が必要です。

2) 設定

- ③ MailGmailRefreshToken.exe で正しくリフレッシュトークンが取得できれば、実行フォルダーに、smail_refreshtoken.ini が
生成されます。
- ④ Smail_refreshtoken.ini を smail.exe と同じフォルダーにコピーし、smail.exe を起動して、smtp 認証に OAUTH-XOAUTH2
を選択すれば利用できます。
※SMTP ユーザ ID,SMTP パスワードを設定していても無視されます。(OAUTH-XOAUTH2 では必要が無いため)

3) 動作確認

以降、SMAIL は、リフレッシュトークンを利用してアクセストークンを自動で取得し、OAuth 2.0 認証でメールを送信
できるようになります。

OAuth 2.0 認証の動作 OS:

OS	Windows Server 2008 sp2	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2012	Windows xp	Windows 7 pro	Windows 8.1	Windows 10 pro
OAuth 2.0 認証	△(*1)	○	○	×	○	○	○

(*1)

KB4019276 パッチを利用し、TLS1.2 を利用可にすれば動作可能です。(Windows Server 2008 sp2 64BIT 版検証済み)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4074621/add-rds-support-for-tls-1-1-and-tls-1-2-in-windows-server-2008-sp2>

2. 詳細

① Google API Console で OAuth 2.0 クライアント用の[クライアント ID]および[クライアントシークレット]の取得

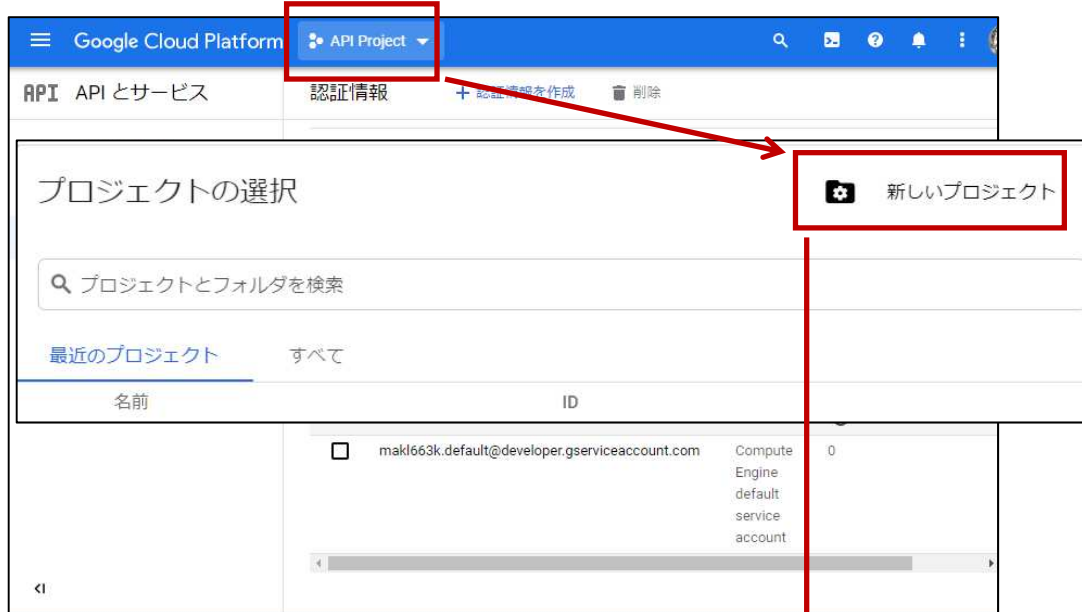
Google API Console (<https://console.cloud.google.com/apis/>)にアクセスする。

Google アカウントでログインします。

(本参考例は Gmail 無料アカウントです。G Suite アカウントもほぼ同じです。この処理は一度だけです。)

1.) 新しいプロジェクトの作成

プロジェクト名は任意の名前です。



[新しいプロジェクト]



2) OAuth 同意画面を[作成]。

- ・外部を選択。G Suite であれば [User Type]、内部が選択できます。



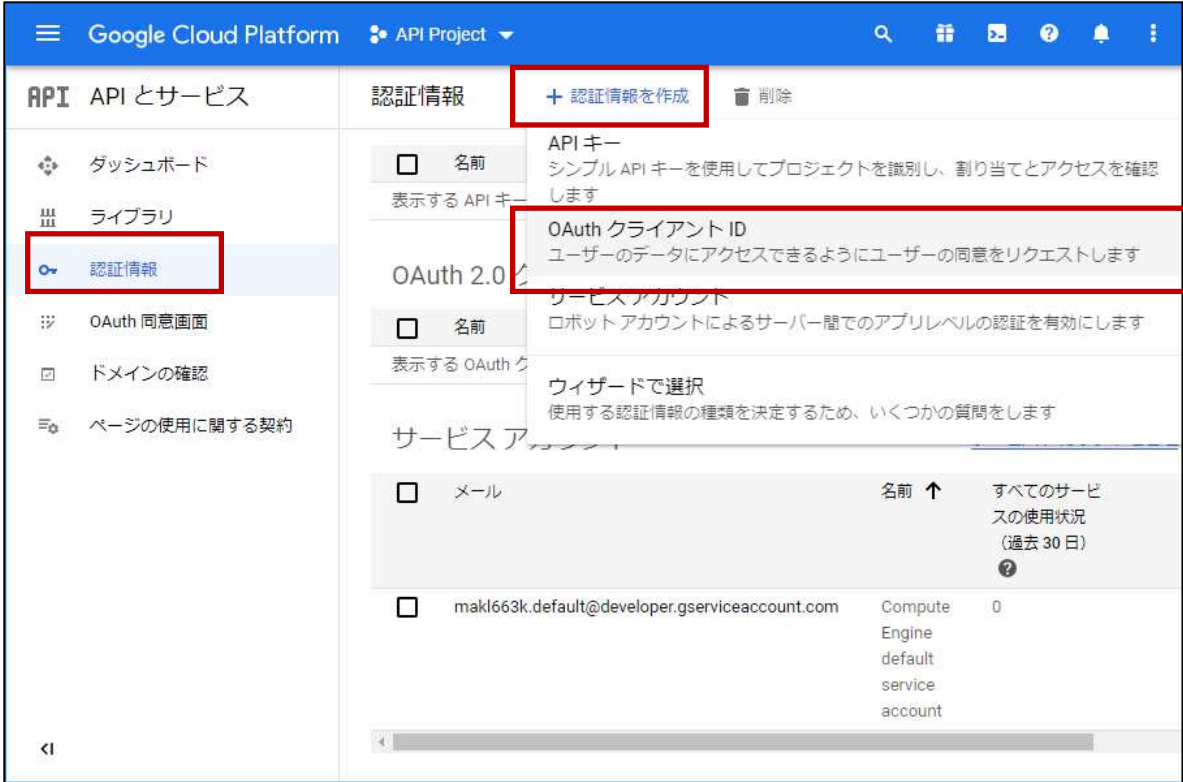
- ・アプリケーション名

smail 連携：名前は任意の名前です。

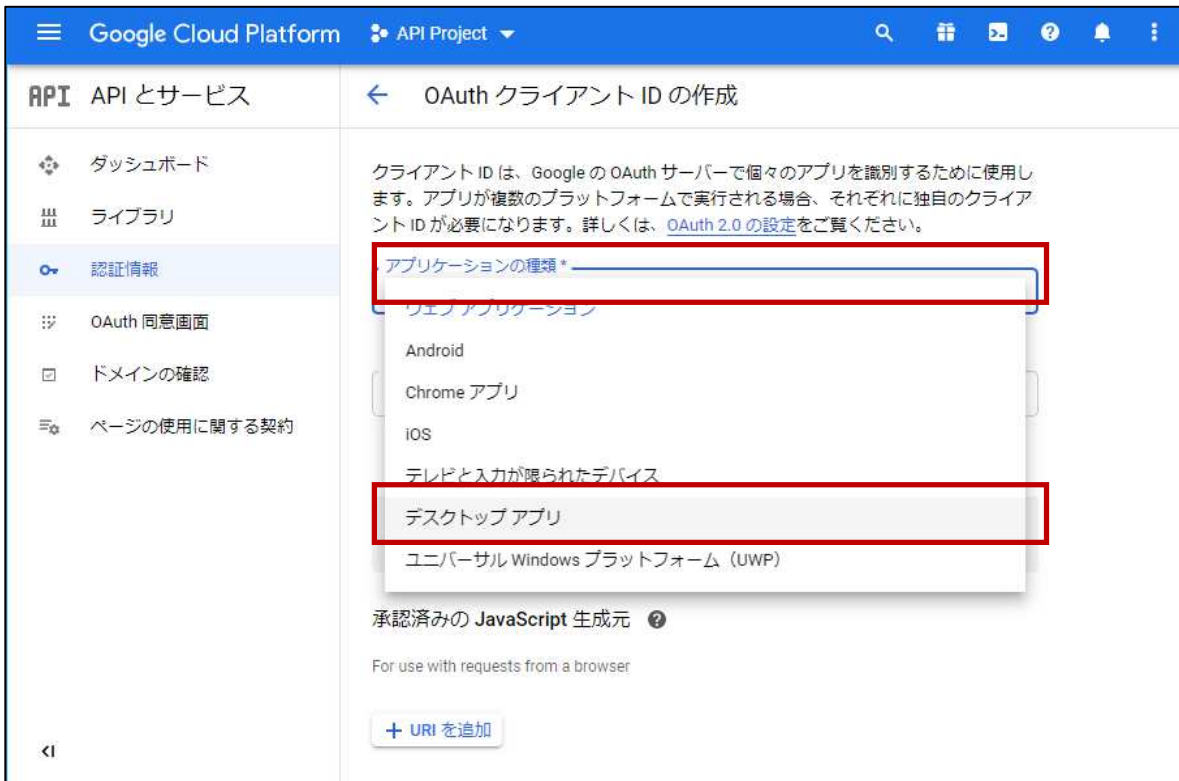


3) OAuth クライアント ID を作成

[認証情報]-[認証情報を作成]-[OAuth クライアント ID]をクリック。



[アプリケーションの種類]-[デスクトップアプリ]を選択します。



[名前]は、任意な名前を入力します。



4) デスクトップ のクライアント ID の JSON ファイルのダウンロード

※クライアント ID、クライアント シークレット等の必要な情報が記載されています。



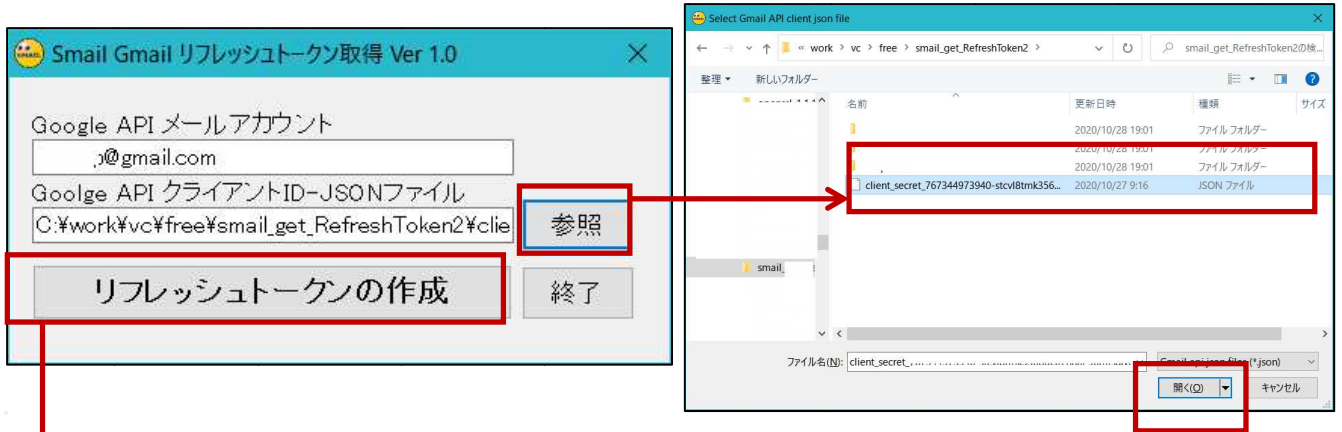
client_secret_xxxxxxxxxgoogleusercontent.com.json

後でリフレッシュトークンを取得する際に必要なファイルです。

② Google OAuth API で[リフレッシュトークン]を取得

1) SmailGmailRefreshToken.exe を起動させます。

① で使用したメールアドレスと取得したJSONファイルを設定します。



[リフレッシュトークンの作成] をクリックします。



デフォルトのブラウザが起動します。
「このアプリは確認されていません」
と表示された場合は、[詳細]をクリック



[smail連携 (安全ではないページ)
に移動をクリック

2) ブラウザーでログイン許可設定をします。



アカウントが複数ある場合は①で使用したアカウントを選択して下さい。



③ MailGmailRefreshToken.exe で正しくリフレッシュトークンが取得できれば、実行フォルダーに、smail_refresh_token.ini が生成されます。

- ・成功するとデフォルトのブラウザに以下のように表示されます。



- ・ SmailGmailRefreshToken.exe 以下のダイアログメッセージが表示されます。



※リフレッシュトークンの再取得が必要な時はこの操作をします。

通常は一度だけ取得すれば OK ですが、Google アカウントのパスワード変更の時は再取得が必要となります。

尚、ここまでの操作は SMAIL を動作させない PC 上で行っても問題ありません。

3. 動作確認

例) c>smail -hsmtp.gmail.com -s"TEST MAIL" -fxxxxxx@gmail.com dummy@example.jp -d -i

```
#----- SMAIL 4.26 Information By Eva -----
#設定ファイル      : [C:¥work¥vc¥free¥smail_v4.26_free_ssl_gui-vc2010¥Release¥smail.ini]
#POP before SMTP  : 使わない
#APOP              : 使わない
#SMTP 認証        : 使う AUTH XAUTH2 を利用
#設定ファイル(OAUTH 用) : [C:¥work¥vc¥free¥smail_v4.26_free_ssl_gui-vc2010¥Release¥smail_refresh token.ini]
#API アカウント   : [evalisp@gmail.com]
#SMTP アカウント  :
#SMTPS (SMTP over SSL) : 使う [OpenSSL 1.1.1h]
#SSL 方式         : TLS1.3-1.0, SSLv2, v3 自動
#STARTTLS        : 使わない
#本文ファイル    : なし
#添付ファイル    : なし
#メールサーバ    : smtp.gmail.com
#メール送り元    : xxxxx@gmail.com
#メール送り先    : dummy@example.jp
#サブジェクト内容 : TEST MAIL
#キャラクターセット : ISO-2022-JP
#エンコーディング : 7bit
SSL connection using TLS_AES_256_GCM_SHA384 - TLSv1.3
X509 subject_name: /C=US/ST=California/L=Mountain View/O=Google LLC/CN=smtp.gmail.com
X509 issuer_name: /C=US/O=Google Trust Services/CN=GTS CA 101
Recv:[52 bytes] 220 smtp.gmail.com ESMTP 10sm8435678pjt.50 - gsmt
Send: EHLO xxxxxx
Recv:[220 bytes] 250-smtp.gmail.com at your service, [xx.xx.xx.xx]
250-SIZE 35882577
250-8BITMIME
250-AUTH LOGIN PLAIN XOAUTH2 PLAIN-CLIENTTOKEN OAUTHBEARER XOAUTH
250-ENHANCEDSTATUSCODES
250-PIPELINING
250-CHUNKING
250 SMTPUTF8
[250 message ok!]
[Try get access token from https://oauth2.googleapis.com/token] ; 認証サーバにアクセストークン要求
[access_token=ya29.A0AfH6SMDzH_2_0....] ; アクセストークン取得
Send: AUTH XOAUTH2 ***** ; XOAUTH2 で接続要求
Recv:[20 bytes] 235 2.7.0 Accepted
Send: MAIL FROM:<XXXXXX@gmail.com>
Recv:[40 bytes] 250 2.1.0 OK 10sm8435678pjt.50 - gsmt
Send: RCPT TO:<eva@picolix.jp>
Recv:[40 bytes] 250 2.1.5 OK 10sm8435678pjt.50 - gsmt
Send: DATA
Recv:[41 bytes] 354 Go ahead 10sm8435678pjt.50 - gsmt
Send: From: XXXXXX@gmail.com
To: dummy@example.jp
Subject: TEST MAIL
X-Mailer: SMAIL 4.26
Mime-Version: 1.0
Content-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP
Content-Transfer-Encoding: 7bit
Date: Sun, 01 Nov 2020 15:44:39 +0900
Send:
#//メールヘッダー送信完了 (1.609sec)....
Send:
.
Recv:[52 bytes] 250 2.0.0 OK 1604213082 10sm8435678pjt.50 - gsmt
Send: QUIT
Recv:[56 bytes] 221 2.0.0 closing connection 10sm8435678pjt.50 - gsmt
C:¥work¥vc¥free¥smail_v4.26_free_ssl_gui-vc2010¥Release>
```

・SMAILはSSL通信にOPENSSLライブラリーを使っていますが、OAUTHのアクセストークン取得部分のみ、googleへのhttpsプロトコルは、標準Windows関数を使用しております。従って、使用端末がtls1.2以降をサポートしている必要があります。

OAuth 2.0 認証の動作 OS:

OS	Windows Server 2008 sp2	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2012	Windows xp	Windows 7 pro	Windows 8.1	Windows 10 pro
OAuth 2.0 認証	△(*1)	○	○	×	○	○	○

(*1)

KB4019276 パッチを利用し、TLS1.2を利用可にすれば動作可能です。(Windows Server 2008 sp2 64BIT 版検証済み)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4074621/add-rds-support-for-tls-1-1-and-tls-1-2-in-windows-server-2008-sp2>

・プロキシ対応です。httpsアクセスに端末のプロキシ情報を利用しています。

OAUTH 関連エラー例

例) smail_refresh_token.ini

```
[250 message ok!]
[Try get access token from https://oauth2.googleapis.com/token]
Error HttpSendRequest [12157]
ERR-0028:OAUTH 認証サーバからアクセストークンが取得できませんでした。
```

12157 セキュリティ・チャンネル・エラー

SSLライブラリのロード中に、アプリケーションに内部エラーが発生しました

```
[250 message ok!]
[Try get access token from https://oauth2.googleapis.com/token]
Error HttpSendRequest [12045]
ERR-0028:OAUTH 認証サーバからアクセストークンが取得できませんでした。
```

12045 無効な認証局です

サーバーSSL証明書は、未知または無効な認証局から発行されたものです。

PCがTSL1.2をサポートしていない場合のエラーです。

```
[250 message ok!]
[Try get access token from https://oauth2.googleapis.com/token]
Error HttpSendRequest [12029]
ERR-0028:OAUTH 認証サーバからアクセストークンが取得できませんでした。
```

12029 サーバー接続の試みに失敗しました

プロキシ設定が間違っており接続できない場合もこのエラーが出ます。